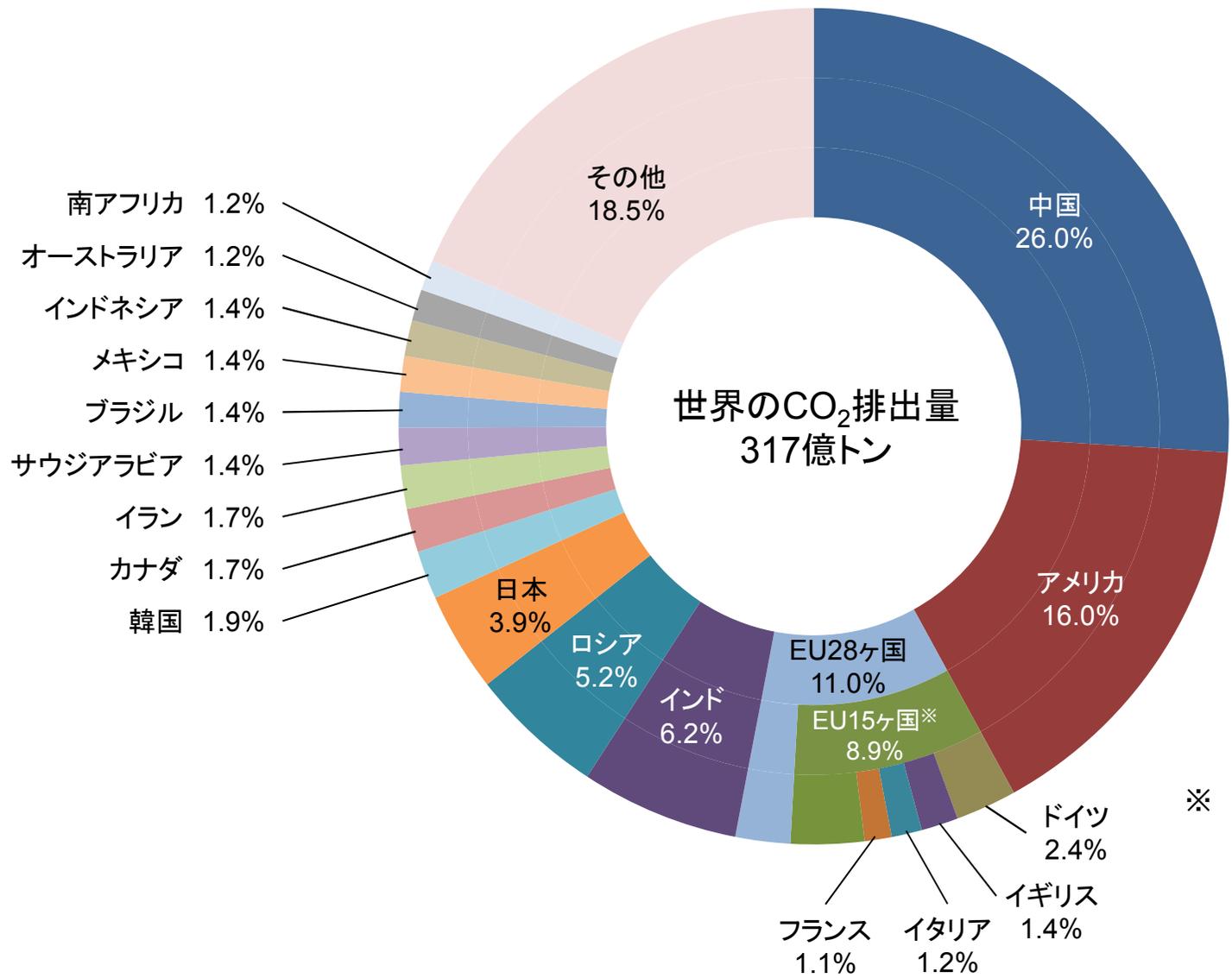


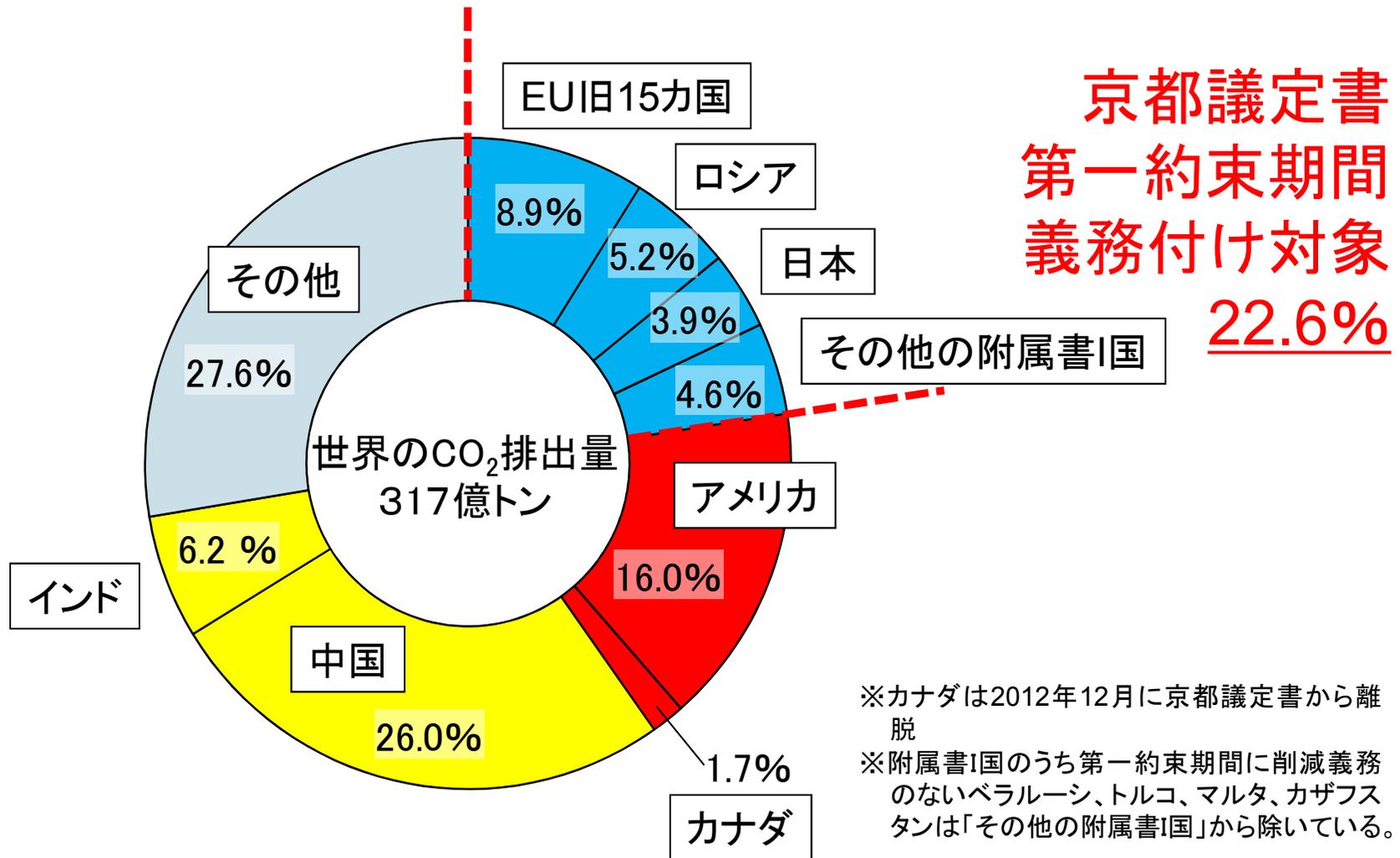
世界のエネルギー起源CO₂排出量(2012年)



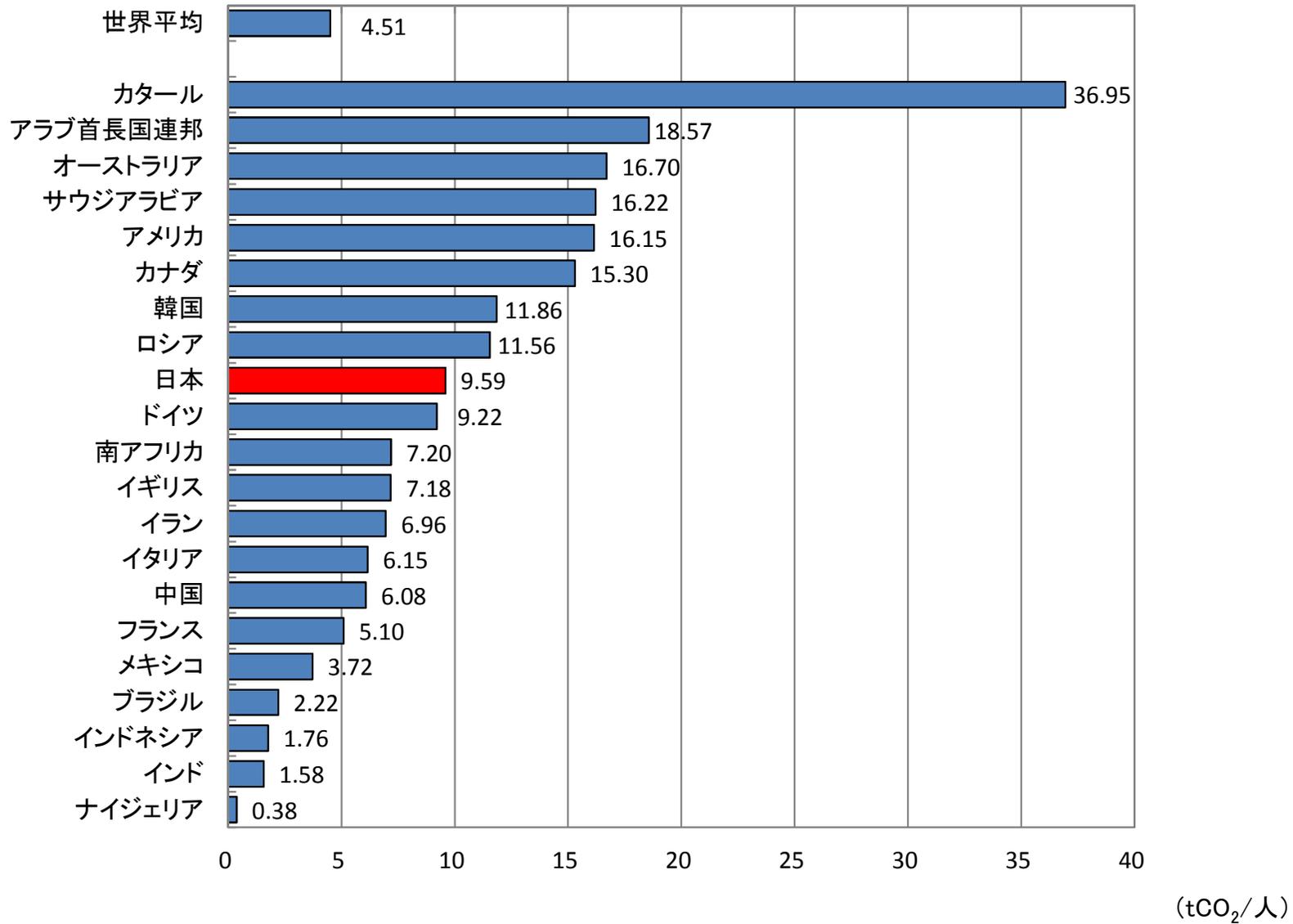
※ EU15ヶ国は、COP3(京都会議)開催時点での加盟国数である。

出典: IEA「CO₂ EMISSIONS FROM FUEL COMBUSTION」2014 EDITIONを元に環境省作成

世界のエネルギー起源CO₂排出量(2012年)
に占める京都議定書第一約束期間義務付け対象の割合

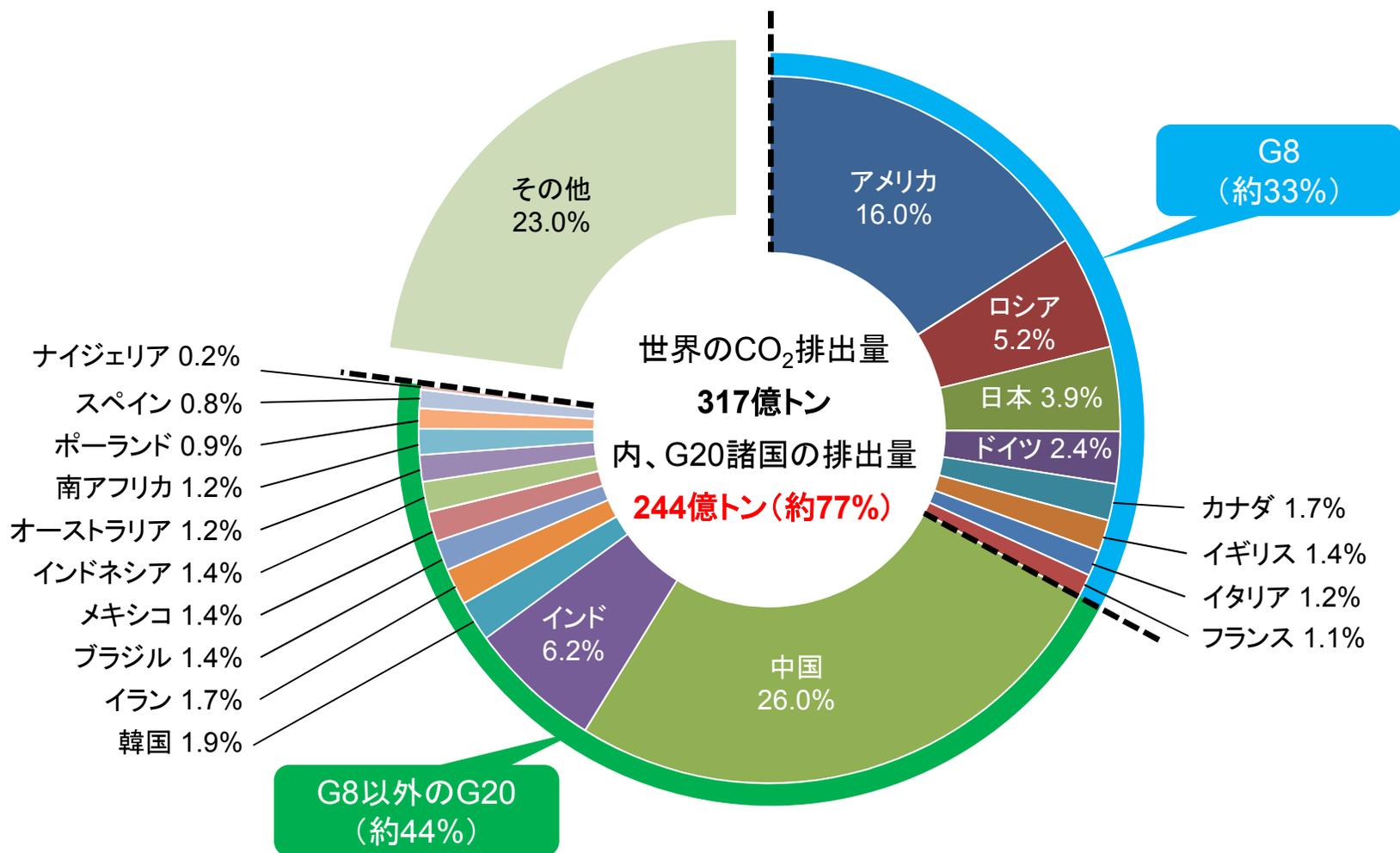


主な国別一人当たりエネルギー起源CO₂排出量(2012年)



出典：IEA「CO₂ EMISSIONS FROM FUEL COMBUSTION」2014 EDITIONを元に環境省作成

世界のエネルギー起源CO₂排出量(2012年)に占めるG20諸国の割合

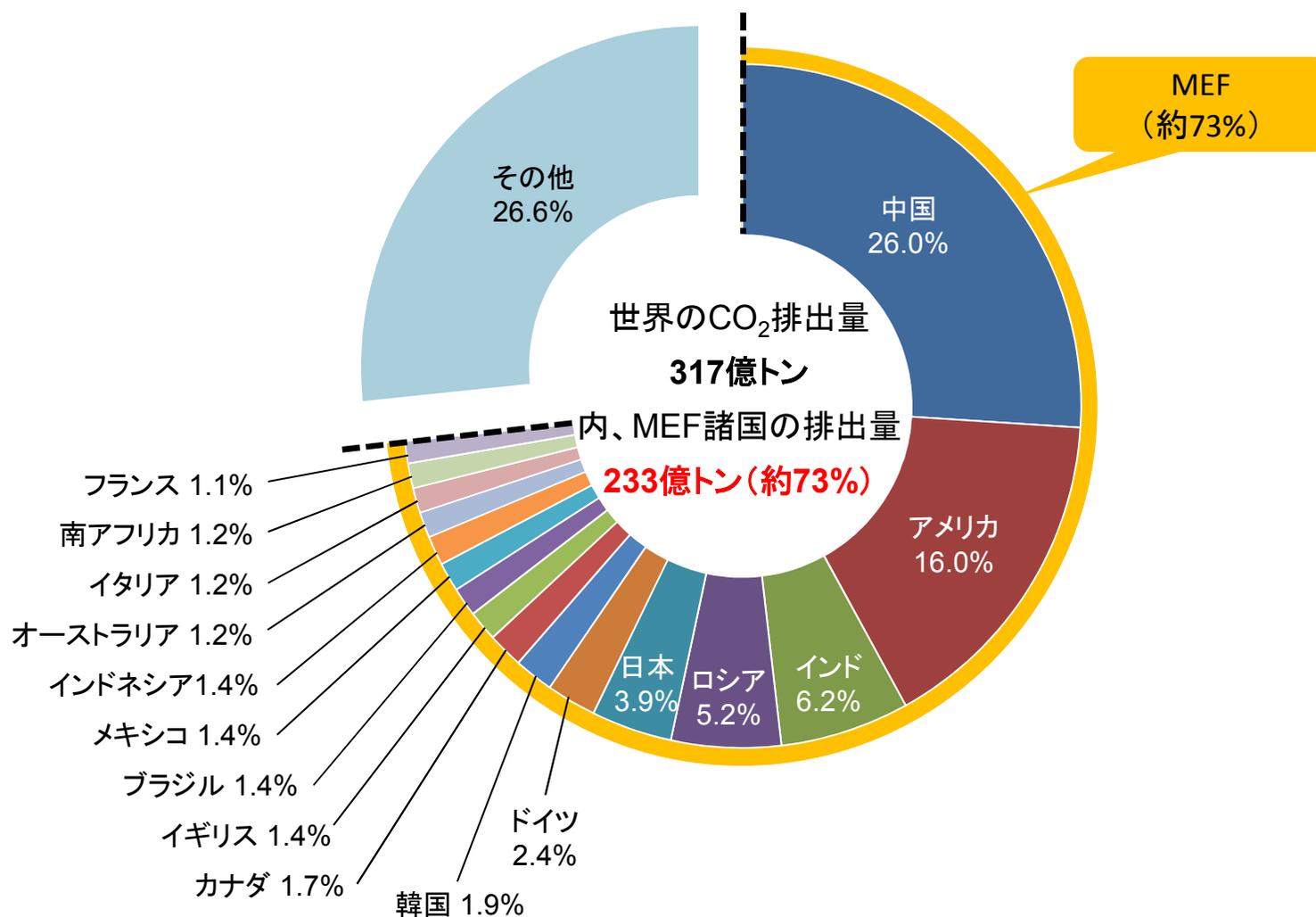


G20(気候変動、クリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する対話)諸国								
G8	アメリカ	ロシア	日本	ドイツ	カナダ	イギリス	イタリア	フランス
その他	中国	インド	韓国	イラン	メキシコ	インドネシア	ブラジル	オーストラリア
	南アフリカ	ポーランド	スペイン	ナイジェリア				

※平成20年に千葉県で開催された第4回対話で議長総括が取りまとめられ、G20は終結した。同年の北海道洞爺湖サミットで対話の結果が報告された。

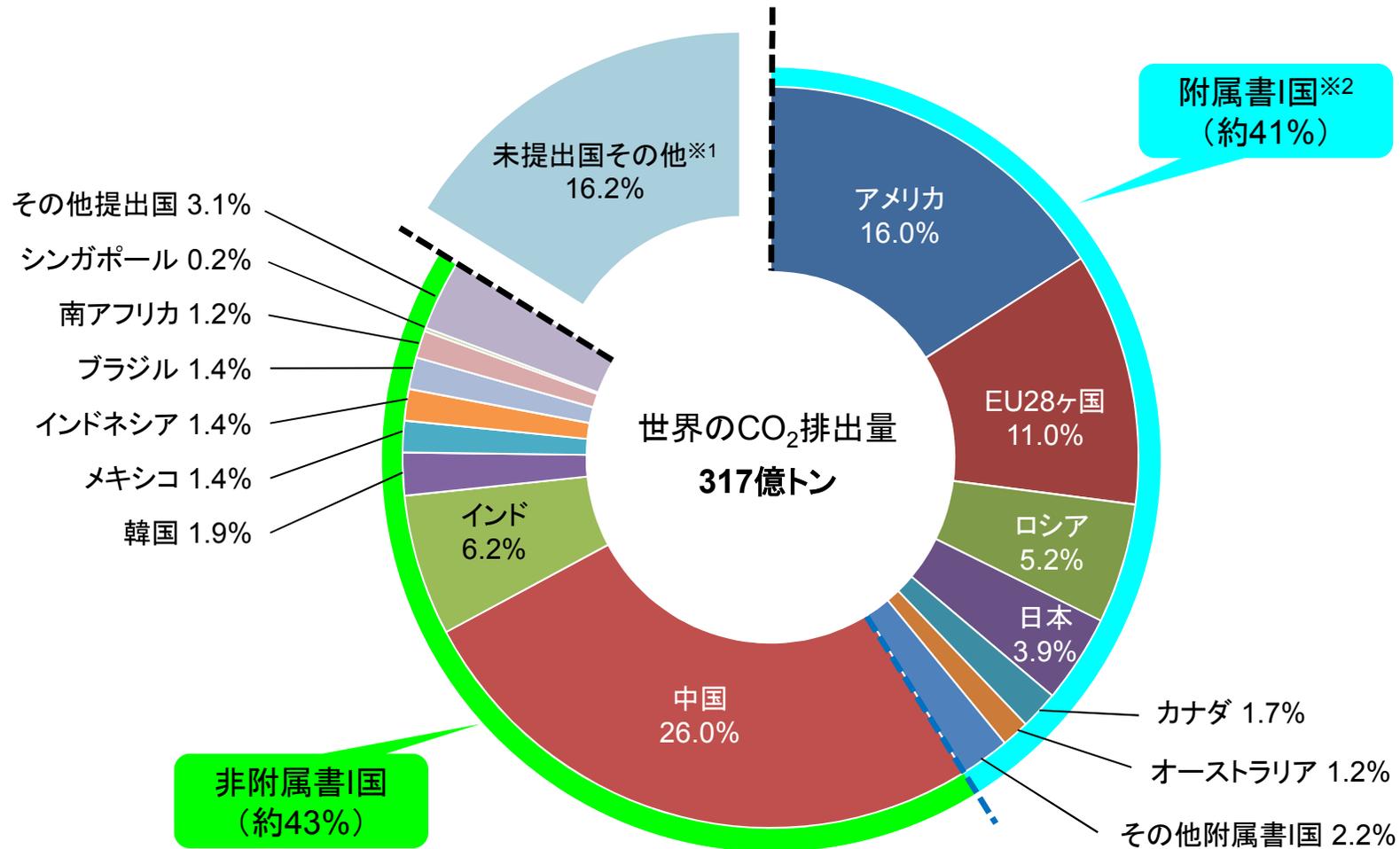
出典：IEA「CO₂ EMISSIONS FROM FUEL COMBUSTION」2014 EDITIONを元に環境省作成

世界のエネルギー起源CO₂排出量(2012年)に占めるMEF主要参加国の割合



MEF(エネルギーと気候に関する主要国経済フォーラム)主要参加国								
MEF (16ヶ国)	中国	アメリカ	インド	ロシア	日本	ドイツ	韓国	カナダ
	イギリス	ブラジル	メキシコ	インドネシア	オーストラリア	イタリア	南アフリカ	フランス

世界のエネルギー起源CO₂排出量(2012年)に占める カンクン合意に基づき緩和目標・行動を提出した国の割合

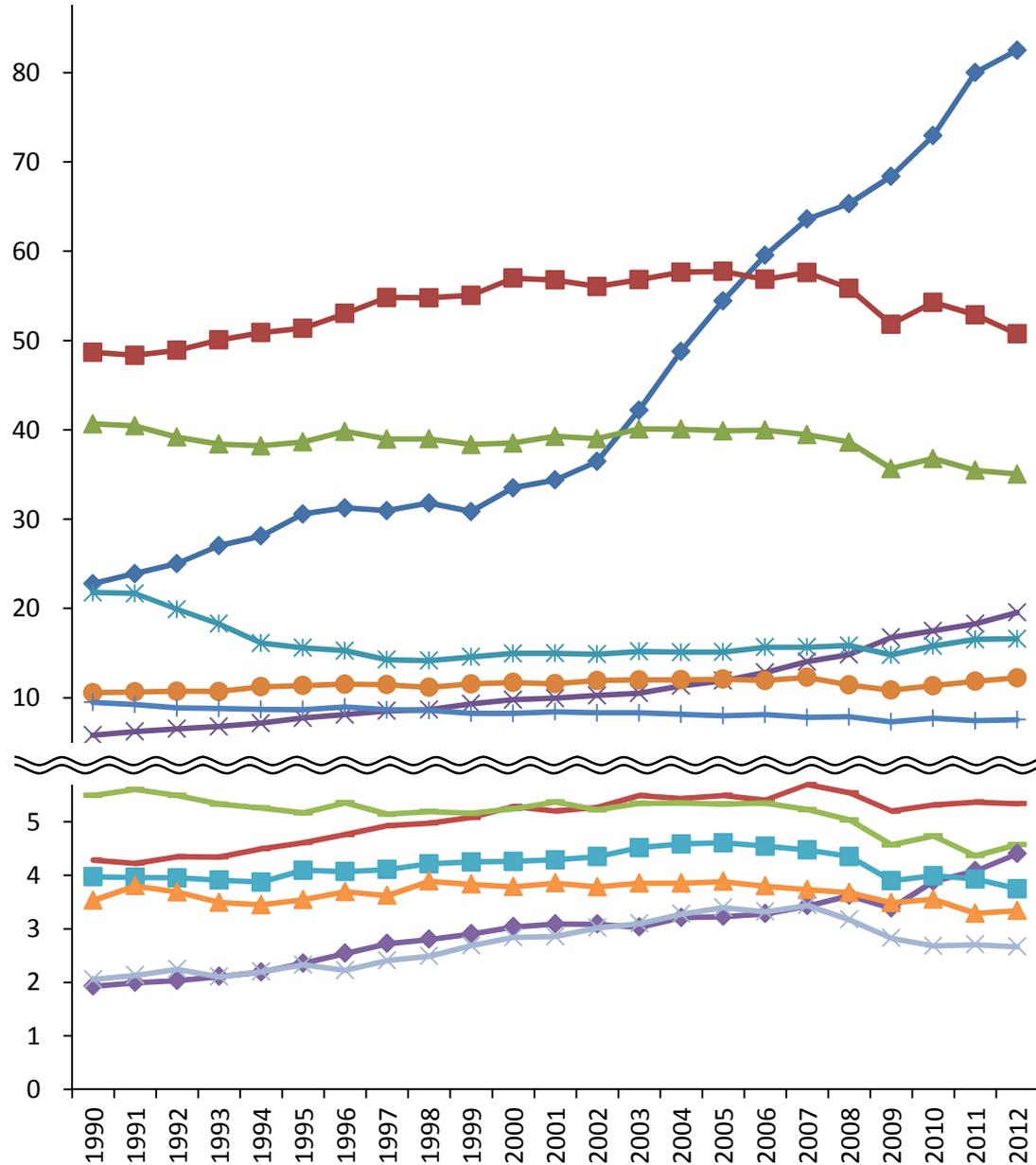


※1 カンクン合意後に緩和目標・行動を提出しているが、IEAにおいて個別の値は掲載されていない国は、「未提出国その他」に含まれている。

※2 ベラルーシ、カザフスタン及びEU28に含まれるキプロス、マルタは含まれているが、未提出であるトルコは含まれていない。

主な国別エネルギー起源CO₂排出量の推移

(億トン-CO₂)



(単位: 億トン-CO₂)

	1990	2012	変化率
中国	22.8	82.5	+262%
アメリカ	48.7	50.7	+4%
EU28ヶ国	40.7	35.0	-14%
インド	5.8	19.5	+237%
ロシア	21.8	16.6	-24%
日本	10.6	12.2	+16%
ドイツ*	9.5	7.6	-20%
カナダ	4.3	5.3	+25%
イギリス*	5.5	4.6	-17%
ブラジル	1.9	4.4	+129%
イタリア*	4.0	3.7	-6%
フランス*	3.5	3.3	-5%
スペイン*	2.1	2.7	+30%

※ EU28ヶ国に含まれる。

(年)

出典: IEA「CO₂ EMISSIONS FROM FUEL COMBUSTION」2014 EDITIONを元に環境省作成